

○片山虎之助君 日本維新の会の片山虎之助です。

また、二十八・一兆円のうち、財政投融资が六兆円、政府系金融機関の融資枠等が十四・六兆円です。既に述べましたが、異次元の金融緩和をしても、民間の設備投資が盛り上がり、金融機関の貸付先がない状況で、例えば必要なリニア等は別にして、これがどれだけの効果があるのか。

○内閣総理大臣(安倍晋三君) 片山虎之助議員にお答えをいたします。

補正予算と経済対策についてお尋ねがありました。

本補正予算は、先般閣議決定した経済対策に基づき、当面の需要喚起にとどまらず、民間主導の持続的な経済成長と一億総活躍社会の着実な実現につながる施策を中心としています。

具体的には、保育所等の整備の前倒しや保育士の人材確保策の拡充等、子育ての環境整備を行います。外国人観光客四千万人時代に向けて、大型クルーズ船の受入れ環境改善や羽田空港の機能強化等により、外国人観光客の受入れ能力を高めます。現下の低金利状況を生かし、財政投融资を活用することで、リニア中央新幹線の全線開業を前倒しするといったように、未来への投資を実現する施策を行ってまいります。